

# OG 紹介



藤原佳那子さん：平成15年度入学生（行動科学プログラム）

「いつ」をしてい

分かりやすく伝えると  
ます。

○今の仕事を選んだ理由先生になろうと思つていました。でもあまりの忙しさに打ち込んでいたのでまたんどうしょに教免はあきらめてしまつたらどうします。学校の先生にならな、新聞記者であるうかと考えている頃に、聞いて記者つて叔父からいづんな話をたのがきっかけで、「かっこいいな！」と思つた。肉係の就職セミナーにいったり、記者に聞けだん憧れが強くなりしていくうちに、だん拿でやつて、なつてきて。記者の仕事です。

私は今、記者の仕事をしています。仕事をしていきます。仕事内容は主に実際に現場へ取材に行つて記事を書き、テレビのニュース（広島版）定時ニュース）を作ります。具体的に現在の担当は市役所です。具体的には広島市で今どういった行政やまちづくりが行われていて、どのように問題があるのかを取材し、見ている人

○仕事のやりがい自分が伝えたいと思ふかを感じ取つて、それを見た人が何とかの役に立つたり、ちょっとでも誰もちらん視聴率が高かったら嬉しいですね。天）見た人からのも気にはなりますが（笑）。直接の声が一番の励み

○今後の展望  
来年の4月  
するので、  
目標ですね。  
りたかつた  
けていきた  
うちにどんど  
たいという思  
事なので。人  
なくて、自分  
りの人の関心  
して、周りひ  
なニュースを  
○総科に入つ  
もともと高  
学をやりたい  
から、そつち  
した。最終的  
のもあるんで  
授業が受け  
たい授業が受  
けられるとい  
総科がいいな

坂田桐子先生と話をして、先生も女性

でずっと働かれていたから、「女性としていろんな専門家の先生の際、大学の時は大きいです。取材するはよくあります！」聞いた話が役立つ」といふことがあります。「あ、なんとなく別の先生がこんな」「そういうえばあの時、あ、感じで。話をしていたな」という

で、バーバリ働いて、ずっと仕事続けていてね！私もそうだったから」ということを言わされました。わたしは元々、そなりたいとは思っていましたが、先生と改めてそういうことを話しているうちに、やっぱり仕事は続けていきたい！という思

いが強まりましたね。

本では、虐待のことが取材したくて、児童虐待についての本ばかり読んでいました。ちょっと暗いかもしれないけど(笑)影響を受けたっていうとちょっと違うかも知れないけど、「シーラという子」っていう児童虐待の本があつて、それが、児童虐待を取材したいな、って思ったきっかけですね。今も児童虐待の取材って言うのは細々と続けていて、いずれそういう番組をしたいな、と思っています。

と思います。  
また、海外方がいいと思います。今、広島で記者を口の取材は避けて通れない日の中爆の「広島市つて外国人がすごく多いのですよ。國の人から見た広島を取材できたら、な仕事でも日本だけではやつそれに、どんて少ないです。やっぱり海ている仕事つたに、なきやいけないので、外の人を相手がある人は行つた方がいいそういう機会

とにかくいろんな人と出会つてほしい。

いろんな授業に出て話を聞くだけでもいい。学生時代が一番フットワーク良く動

○総科でよかつた！と思<sup>ト</sup>士に出会えた<sup>ト</sup>にいろんな専門家の先生<sup>の</sup>際、大学の<sup>の</sup>す

番苦労しました。

○学生時代の人生に影響<sup>た</sup>与えた人・本

【担当】26生 石原佳奈  
26生 己斐匠